

Duo
CICOGNA

*Recital
in
Yamanashi*

デュオ・チコーニャ
リサイタル in 山梨

Stephanie Gericke *mezzo soprano*

Akemi Alink *piano*



2019 **Sat. 8.31** 19:00 開演 (18:30 開場)
笛吹市スコレーセンター 多目的ホール

【チケット (全席自由)】 一般前売：¥2,000 (当日 ¥2,500) / 学生前売：¥1,000 (当日 ¥1,500)

【出演】デュオ・チコーニャ (メゾ・ソプラノ：シュテファニー・ゲーリケ/ピアノ：アーリンク明美)

【主催】(公財)ふえふき文化・スポーツ振興財団

Duo デュオ・チコーニャ CICOGNA

Biography



シュテファニー・ゲーリケ [メゾ・ソプラノ]

Stephanie Gericke - *mezzo soprano*

メゾ・ソプラノのシュテファニー・ゲーリケはドイツのヴィルヘルムスハーフェンに生まれた。幼い頃から18歳まで聖歌隊学校で学び、その後ドイツのハノーファー音楽演劇大学で音楽教育、ハノーファー大学でドイツ語を勉強した。過去に、様々な室内合唱団のメンバーとして、ヨーロッパ内外でのコンサートに参加。ドイツでの勉強後、オランダのハーグ王立音楽院で声楽を勉強し、2003年に学士、2005年に修士の学位を取得。これまでに、ジル・フェルドマン、ヨーン・ブレッヘラー、クリスティーナ・デューテコム、ラルフ・ポップケン、マイケル・チャンス各氏のマスタークラスを受講。2001年より定期的にリートやオラトリオのソリストとして活動。これまでにW.A.モーツァルト《証聖者の荘厳晩課》をバツハ協会合唱団とコンサートヘボウ室内管弦楽団(指揮:シャルル・デ・ウォルフ)、J.S.バツハ《ヨハネ受難曲》をフロリレジウム・ムジウム・バロックオーケストラ、J.S.バツハ《マタイ受難曲》をコンサートヘボウ室内管弦楽団(指揮:ヤン・ウィレム・デ・フリント)、メンデルスゾーン《エリヤ》をネーデルラント・フィルハーモニー管弦楽団(指揮:ポール・マクリーシュ)等と共演。オペラでは、エミリオ・デ・カヴァリエーリ《魂と肉体の劇》、マルコ・ダ・ガリアーノ《ダフネ》、W.A.モーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》、エンゲルベルト・フンパーディンク《ヘンゼルとグレーテル》等に出演。2014年と2016年には、日本でドイツ歌曲のマスタークラスを行った。2008年よりオランダのハーグ王立音楽院で教鞭を執っている。

Duo Cicogna リサイタル in 山梨

日時: 2019年8月31日(土) 19:00 開演 (18:30 開場)

場所: 笛吹市スコレーセンター 多目的ホール
(山梨県笛吹市石和町広瀬 626 番地 1)

料金: 一般前売 2,000円 (当日 2,500円)
学生前売 1,000円 (当日 1,500円)

プログラム

フーゴ・ヴォルフ Hugo Wolf (1860-1903)
妖精の歌 Efenlied

ロベルト・シューマン Robert Schuman (1810-1856)
兵士の花嫁 Die Soldatenbraut
美しい花々 Schön Blümelein (二重唱)

クララ・シューマン Clara Schumann (1819-1896)
美しさゆえに愛するのなら Liebste du um Schönheit

グスタフ・マーラー Gustav Mahler (1860-1911)
美しさゆえに愛するのなら Liebste du um Schönheit

ヨハネス・ブラームス Johannes Brahms (1833-1897)
甲斐なきセレナーデ Vergebliches Ständchen

日本語の二重唱 — 他 —

チケットプレイガイド

笛吹市スコレーセンター 055-263-7959
いちのみや桃の里ふれあい文化館 0553-47-6066
YCC県民文化ホール(山梨県立県民文化ホール) 055-228-9131
東京エレクトロン 韮崎文化ホール 0551-20-1155
桃源文化会館 055-284-3411
内藤楽器本店 055-235-7110
カワイ楽器甲府店 055-241-9220
ナーブル音楽企画 055-288-9177

お問い合わせ

笛吹市スコレーセンター

〒406-0035 山梨県笛吹市石和町広瀬 626 番地 1
TEL 055-263-7959 FAX 055-263-7960

アーリンク・明美 [ピアノ]

Akemi Alink - *piano*

2001年よりオランダを拠点にし、ソロは勿論、リート、室内楽ピアニストとしても活動中。2012年にドイツ人メゾ・ソプラノ歌手、シュテファニー・ゲーリケとリートデュオ"Duo Cicogna"を結成。これまでに、日本の東京オペラシティリサイタルホール、サントリーホールブルーローズ、宗次ホール、オランダのドクター・アントン・フィリップスホール等のホールを始めとする各地のコンサートに出演。新聞やラジオ等のメディアにも度々取り上げられた。ソロ、リートピアニストとして、レッスンやマスタークラスも行っている。2016年には、ロシア人ピアニスト、オルガ・ケルン(2001年のヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールの覇者)の誘いで、公開マスタークラスをアメリカで一緒に行った。ヨーロッパ、アメリカ、ブラジルの国際ピアノコンクール、リトアニアでは国際室内楽コンクールの審査員を務める。2019年はスウェーデンのアルヴィカ、スペインのハエン、ポルトガルのポルトをはじめ、アメリカのオルガ・ケルン国際ピアノコンクール(ニューメキシコ州)の審査員に招かれている。2013年よりピアノ月刊音楽雑誌「ショパン」で、「世界のコンクール便り」と題した国際ピアノコンクールのレポートを連載中。2015年は、ワルシャワのショパン国際ピアノコンクールの審査員と入賞者のインタビュー、2016年はシドニー国際ピアノコンクール、2017年はテル・アヴィブのルービンシュタイン国際ピアノコンクール、2015年と2018年には浜松国際ピアノコンクールのセミファイナルとファイナルのレビュー等の執筆活動にも携っている。

川口聖加 [ソプラノ] ※二重唱のみ出演

Seika Kawaguchi - *soprano*

甲府市出身。新潟大学卒業、同大学院修了。オランダ王立音楽院ソロ声楽科卒業。歌曲、オペラ、バロック、宗教曲、現代曲まで、日本国内外で演奏活動を行う。CD「リラの花咲くころ」、「タケミツ・ソングス」リリース。ナーブル音楽企画主宰。ミュージックシアターグループtuttiY代表。笛吹音楽祭合唱指導担当。混声合唱団アルクス指導者。